

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

# 両沼地方稲作情報 第5号

平成30年8月24日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)

” 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば みどり地区本部、各営農経済センター、

J A会津米改良協会

## —刈り遅れに注意！—

☆ 出穂後30日間は水をきらさないように、**間断灌水**で管理しましょう。

☆ 今年**は高温**で推移しており、**水稻の生育が3~4日進んで**います。**適期(黄化率85%~90%)に収穫**しましょう。

### 1 気象情報(平成30年8月23日 仙台管区气象台発表「東北地方1か月予報」より一部抜粋)

<8月25日~9月24日までの天候見通し>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

### 2 生育状況

会津坂下普及所の作柄判定ほの調査結果(表1)によると、コシヒカリ(会津美里町)の出穂期は8月5日、ひとめぼれ(湯川村)は7月31日で、平年より3~4日早くなりました。

表1 品種別の出穂期

品種名	移植日		出穂期	
	本年	平年	本年	平年
コシヒカリ(会津美里町)	5月15日	5月17日	8月5日	8月9日
ひとめぼれ(湯川村)	5月18日	5月19日	7月31日	8月3日
ひとめぼれ(昭和村)	5月22日	5月23日	8月3日	8月3日

※平年値は直近5年間の平均値。

### 3 今後の作業について

時期	8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
生育ステージ	出穂期	登熟期			成熟期	
水管理	湛水管理		間断灌水		落水	
防除作業		カメムシ防除				

- ・ 水稻は、登熟期間に、水を使って穂に養分を送り、米粒を肥大させます。このため、出穂30日頃までは田面を白乾させないように注意しましょう。

**農作業事故に注意しましょう。 9/1~10/31は秋の農作業安全運動期間です!**

#### 4 適期刈取

刈取り適期は出穂後の積算気温で 950℃～1100℃、籾の黄化率が 85～90%になった時期で、概ね出穂後 40～50 日です。刈り遅れ（目安：積算気温で 1,200℃以上）は品質低下の原因になります。

出穂後の積算気温を目安に収穫の作業計画を立てるとともに、実際の籾の黄化率を十分確認して適期刈取りを行い、刈り遅れによる品質低下に気をつけましょう。



図1 収穫日の判断のしかた



図2 黄化率 90%の稲穂

表2 出穂後積算気温と刈取り適期予想

品種	平均出穂期	到達日（予想）			
		900℃	950℃	1,050℃	1,100℃
ひとめぼれ(平坦部)	7月31日	9月5日	9月7日	9月12日	9月14日
コシヒカリ(平坦部)	8月5日	9月12日	9月14日	9月19日	9月21日
ひとめぼれ(山間部)	8月3日	9月13日	9月16日	9月22日	9月25日

※8月23日までは実測値(日平均気温)を、以降は日平均気温の平均値を使用した。なお、平坦部は若松アメダス、山間部は金山アメダスのデータを使用した。

#### 5 生わらのすき込みについて

生わらは貴重な有機資源です。燃やさずに、水田にすき込むなど有効活用しましょう。生わらのすき込みは、土壌を柔らかくし、地力を増やす効果があります。

微生物が活動し生わらを分解するには、水分、温度、酸素の3条件を満たすことが重要です。

- ① 収穫したあと乾燥しすぎないうちにすき込みます。
- ② 気温が暖かい10月中旬までに浅耕（5～10 cm）します。深く耕耘すると分解が遅れます。
- ③ 湿田や冬期湛水しやすいほ場では排水溝を作り、地表水を排水して酸素を供給します。生わらをすき込む場合は、分解促進剤を使用して、生わらの分解促進を図りましょう。

#### 平成30年産米全量全袋検査について（放射線対策）

**出荷米、保有米、縁故米、くず米など全ての米を検査します。引き続き御協力をお願いします**

御不明な点は最寄りのJA支店または普及所までお問い合わせください。